

「JAバンク茨城子ども食堂応援助成」活動報告書

活動名	子ども食堂《タベルナ》
団体名	特定非営利活動法人 キッズ王国
この活動で取り組んだ地域の課題や背景	県内他地域の設置状況に大きく遅れて鉾田市で最初の子ども食堂としてスタートしたのは 1 年半ほど前、資金の確保と私たちが運営可能な実施ノウハウなど手探りの状況での開始でしたが、ようやく道筋が見えてきた昨今です。とはいえ、今なお人口 5 万人のエリアでここだけです。子どもたちの利便性などから地域としての課題はまだまだ大きいものがあり、事業拡大等に取り組まなければなりません。
この活動の目的	生活困窮者世帯を含む子どもたちに食事を提供するとともに、元気に遊んで、楽しく学べる場を提供できるよう、子どもたちの居場所作りを目的としています。
活動の対象	幼児から中学生までの子どもたち。幼児の場合は保護者の同伴をお願いしています。鉾田市内の子どもを原則としています。2 割ほどは近隣自治体からの子どもです。
実施内容	この活動は通年事業ですが、助成対象期間の本年 4～6 月について、開催日ごとの実施内容は次の通りです。 ※①は主なメニュー、②は利用者総数（子ども：大人）、③はレクリエーションのイベント内容、④はおやつの内容、です。 ・4 月 8 日 ①コロッケカレー ②90 人(75:15) ③紙ヒコーキ大会 ④ミルクコーヒゼリー ・4 月 22 日 ①イカフライとたけのこご飯 ②77 人(67:10) ③バケツで稲作り ④大学イモ ・5 月 13 日 ①手まり寿司 ②77 人(70:7) ③バルーンアート ④ミルク餅 ・5 月 27 日 ①味噌ケチャップ丼 ②78 人(63:15) ③金魚すくい大会 ④バナナジュース ・6 月 10 日 ①スパゲティミートソース ②68 人(53:15) ③ザリガニつり ④おさつチップス ・6 月 17 日 ①鶏のから揚げとカレー ②74 人(58:16) ③プラバンを作ろう ④杏仁プリン
活動実施後の成果	生活困窮家庭、多子家庭の保護者たちからは子ども食堂《タベルナ》に関して感謝の言葉が寄せられています。共働き家庭の子どもは独りで食事をする事が多く、どうしても好きなものだけを食べる偏食がありますが、栄養バランスのとれた食事を提供することは大切です。また、地元産の食材を使用した食事の提供は郷土愛の理解への効果もあると思います。

「JAバンク茨城子ども食堂応援助成」活動報告書

今後の展望 や新たに 見えてきた 地域課題	鉾田市で最初の子ども食堂を私たちが始めて 1 年半あまり、子ども食堂はこのひとつだけ、この状況は変わっていません。公共交通機関はなく、それでも子どもたちが集まっています。会場近くの子どもとは明らかな不公平が生じています。開催場所の拡大は必須となっています。場所の確保は何とかなりそうですが、資金は何とかするにしても、いちばんの課題はスタッフのマンパワーです。
寄付者への一言	心やさしいお気持ちに感謝申し上げます。
自己評価	A. 目標を超える成果を得ることができた ☒ B. ほぼ目標どおりの結果となった C. 残念ながら目標を達成できなかった D. その他 ()